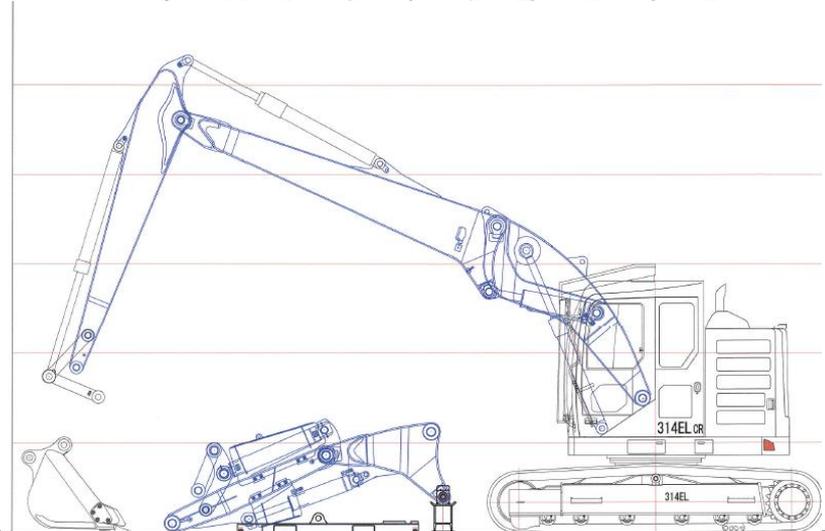
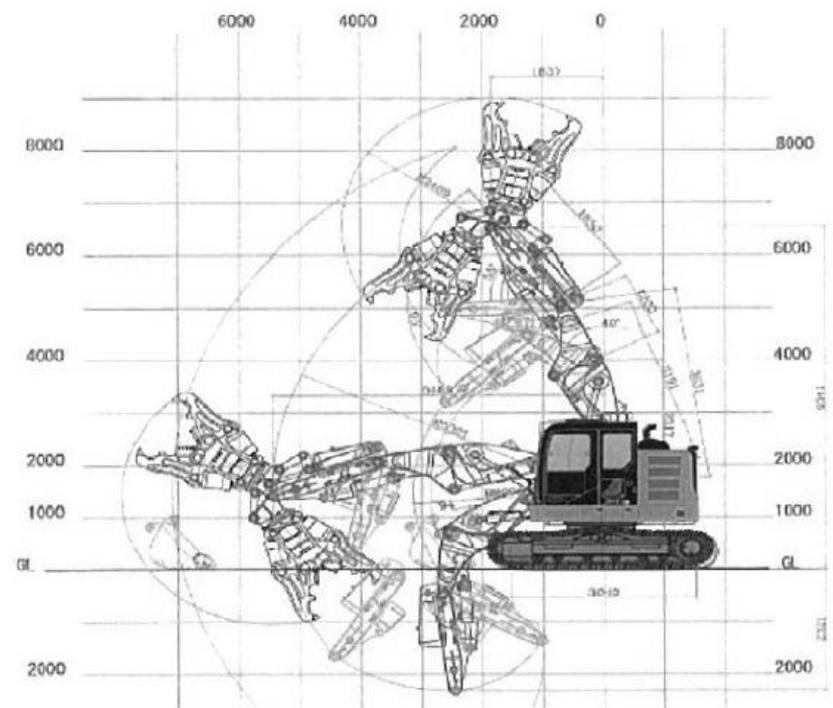


新型CAT315-07 シン・解体仕様機 フルラインナップ

プロボ

- PROBO S/M/L
- アナトラ
- 2段ロング
- TMアーム
- ENアーム
- DX解体



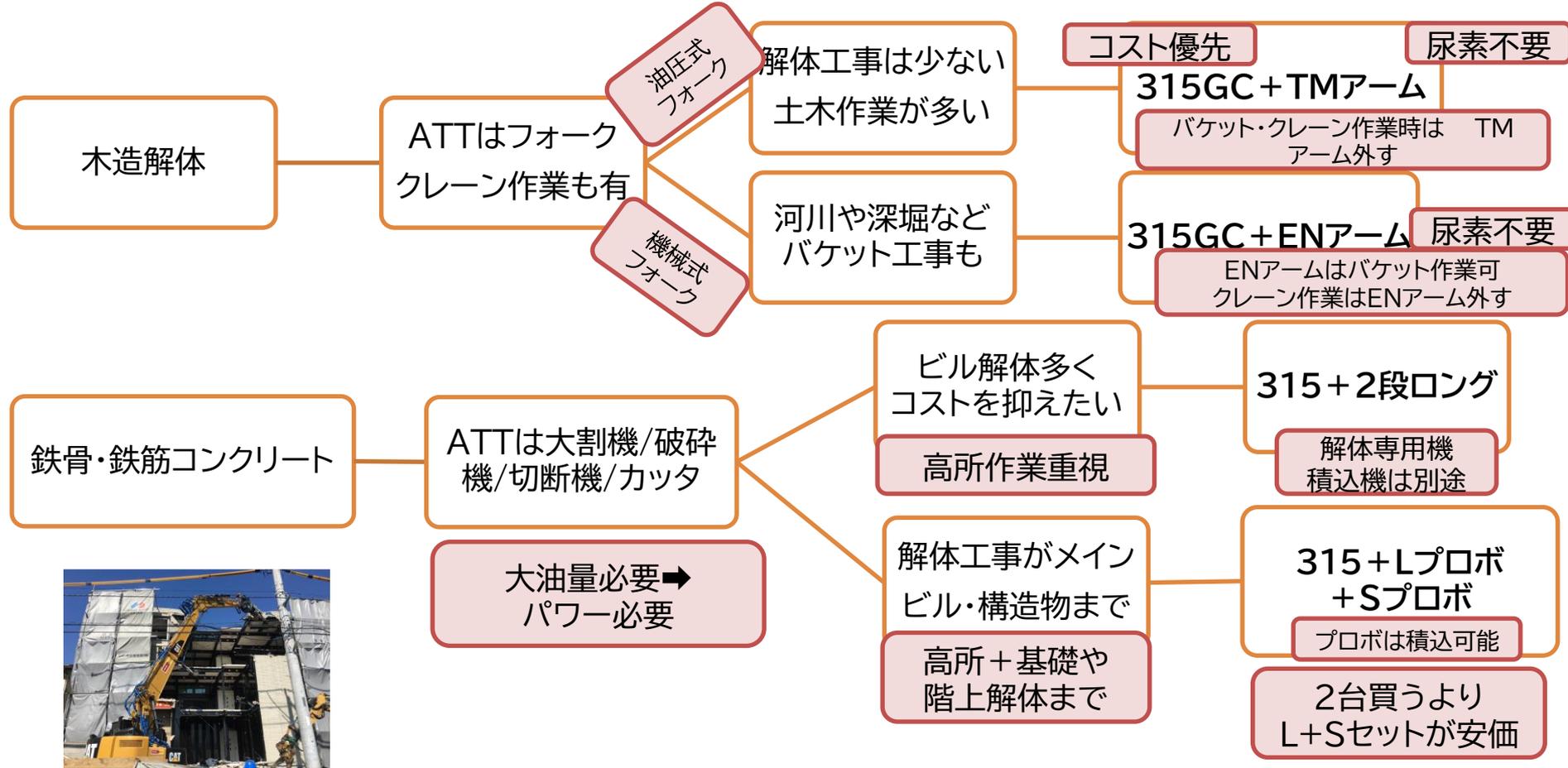
LET'S DO THE WORK.™

四国建販 CAT

3階建解体にはどの仕様をお勧めするのか

- 3階建の解体工事
- 周囲が狭く、0.8m³クラスは入らない

- アタッチメント要求スペック (開口幅、重量、必要油量)からチョイス



色々あるけど何が違うの

仕様	おすすめ用途	長所	短所
Sプロボ	地下、基礎解体、階上解体	1クラス上のATT,丸吊り容易	使い勝手良く儲かる機械
Mプロボ	2階までの解体、整地掘削	標準機並み掘削力,作業範囲	2ピースブーム同等
Lプロボ	高所解体 3~5階建て	超ロング並の作業高さ	高所作業時旋回範囲は左右30度
アナトラ	Sプロボ同等	フロント軽くバランスが良い	ショートアーム専用機
TMアーム	木造解体 軽量鉄骨解体	安価、脱着用意、油圧ATT可	ATTは1クラス下 バケット不可
ENアーム	深掘、河川、高積	安価、脱着用意、掘削可能	バケットは1クラス下、油圧ATT不可
2段ロング	高所解体 3~5階	超ロング並の作業高さ	汎用性、重掘削不可
DX解体	階上解体、整地掘削	プロスペックのフル装備	解体専門でないとおバースパッ



Lプロボ

Sプロボ



TMアーム

固定
バケット
作業不可



ENアーム

可動



2段ロング

セカンドブームから先を交換することでS/M/Lがベースマシン兼用できるマルチフロント

ATT用配管を油圧ATTに使用する、ATTは角度固定
バケット作業はTMアームを外す

ATT用配管をバケットシリンダに使うので油圧ATTを使うには配管の増設必要

なぜCATをお勧めするのか

2ピースブームとの違い

最大掘削高さ
アーム先端ピン高さ



- 3階建の解体をしたい=10mの高さに**安全に**届く必要がある
- 0.5m³クラス2ピースブームでは届かない
- 「最大掘削(作業)高さ」はバケット(アタッチメント)最大到達点だが
2ピースブーム機はキャブの頭上になりアタッチメント先端が目視できず
危険で作業はできない➡実質作業可能高さは8~9m
- 0.5m³クラス超ロングなら12m届くがバケット作業不可
- Lプロボなら届いてバケット作業もできる

⇓

- 超ロング(3段ロング)は10m以上の解体をする時に
 - ①高所作業用解体機と
 - ②ガラ片付け、基礎解体、整地用機の2台必要
- CATなら解体アタッチメントとバケット作業を1台でできる!
- 廻送、ブーム交換の手間がない
- 狭い現場に2台が動くのは**危険!**

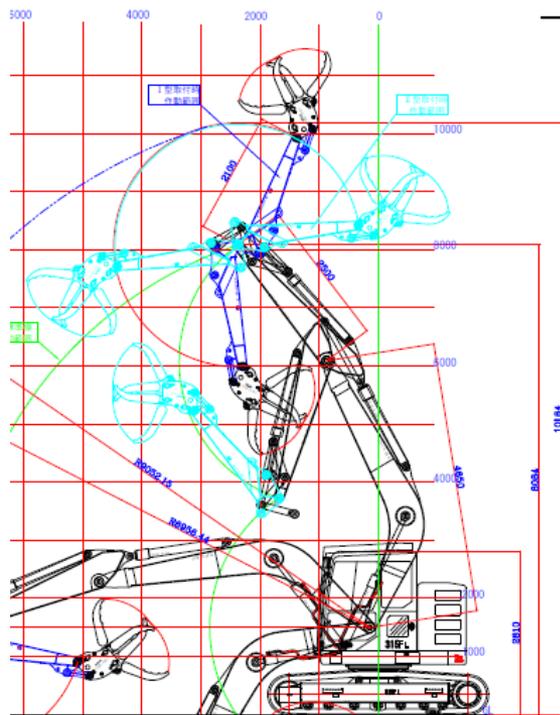
仕様	アーム先端ピン高さ
標準機	8m
2ピース	9.5m
TMアーム	10.2m
2段ロング	11.5m
Lプロボ	10.2m

解体機の呼び方はいろいろ	ツープースブームはセパレートブームとも呼ぶ		
UHD(Ultra High Demolition)	=超ロング	=3段ロング	≡解体ロング ≡2段ロング

2ピースブームとTMアーム比較

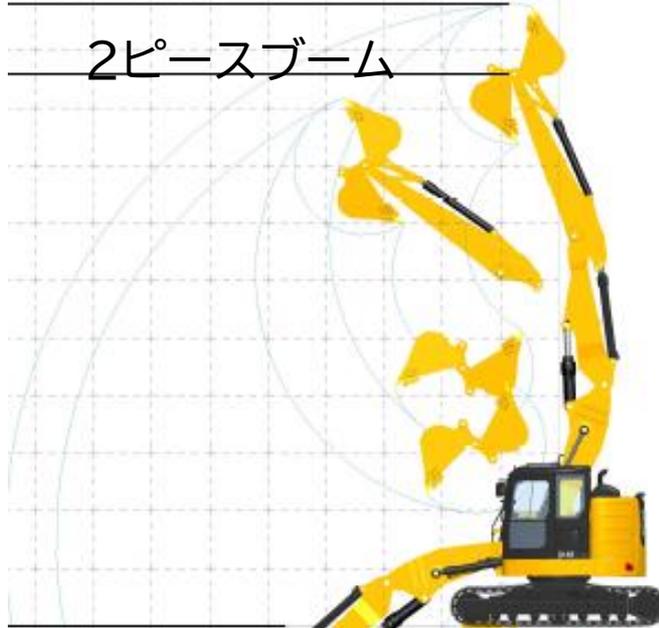
315用TMアーム(2.1m)
ATT=0.25用

	315	TMアーム	2PB	標準機
最大作業高さ		11.3m	10.8m	9.3m
キャブ前面からの距離		1.5m 作業可能	-1m 作業不可	1.5m 作業可
実用最大作業高さ		11.3m	10.3m	9.3m
アタッチメント		0.25クラス	0.45クラス	0.45クラス



314ELCR・315F

2ピースブーム

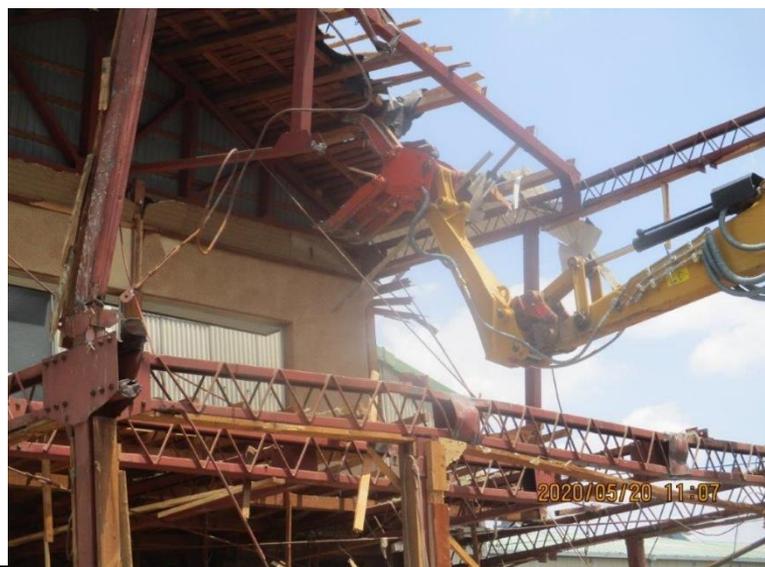
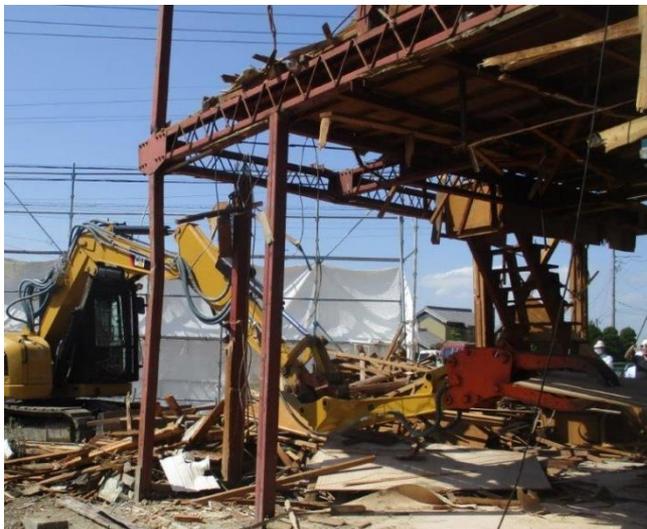


LET'S DO THE WORK.™

四国建販



308TMアーム



LET'S DO THE WORK.™

PROBO (プロボ) について

PROBOの語源・・・イタリア語で像の鼻を意味する「プロボシュデ」

マルチフロント仕様・・・1stブームを起点に2ndブーム以降を交換することで様々な現場に合わせて1台でマルチに活躍できます。(マルチフロント仕様を選択した場合のみ)



1stブームから先を交換



S-PROBO



M-PROBO



L-PROBO

LET'S DO THE WORK.™

四国建販 CAT

L-PROBO 特長

・ 20t級解体機に匹敵する作業高さ

⇒315-07L-PROBOの場合、先端ピン最大高さが約10m到達。
20tクラスと同等の作業範囲を確保しています。
また、高い作業範囲を持ちながらもベース車両クラスのアタッチメントを装着可能です。

20t級が入れない狭い現場で大活躍！！



・ 狭所でもバツグンの作業性

⇒ブーム伸長時、ブーム背面が反る形になり前方旋回半径が短縮。建物に近づいて作業が可能。電線等の障害物を交わしながら作業も可能。



・ 掘削作業も十分な性能

⇒20t級の作業高さを持ちながら掘削作業やガラ集めも問題なし。
ロング解体機では出来ない下の作業も両立可能。



LET'S DO THE WORK.™

四国建販 CAT

M-PROBO 特長

- ・ 2ピースブーム仕様機と同等の作業範囲

⇒315-07の場合、アーム先端ピン高さが約9mと他社機2ピースブームと比較しても十分な作業範囲。

- ・ PROBO独自の構造で掘削力を保持

⇒標準機に近い形状と、プロボ独自の構造によるブームの保持力から掘削作業時にはPROBOシリーズで最も通常の油圧ショベルと近い感覚で作業を行うことができます。



解体・掘削バランスよく作業出来る1台

S-PROBO 特長

・解体専用ブームラン型バケットリンケージの採用

⇒巻き込み角度が向上。作業領域が増え、構造物に的確にアプローチして破砕が可能。

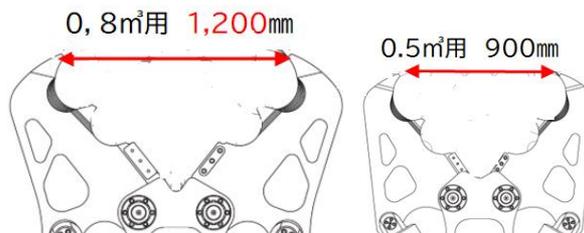
1クラス上の重たいアタッチメントからの力負けによるバケットシリンダ抜けを防止します。



広い巻き込み角



構造物に対し
的確にアプローチ
して破砕



0.5m³の機体に
0.8m³のATT

開口幅が広く作業が速い
コンパクトな機体で作業容易

工期短縮できるので
儲かる

LET'S DO THE WORK.™

四国建販 CAT

S-PROBO 特長

・1クラス上のアタッチメントが装着可能！

⇒315-Sプロボは20tクラスのアタッチメントを装着。
太い梁でも破碎することができます。

・強力な引き寄せ力

⇒ショートリーチとPROBO特有のシリンダ配置で
基礎起こし作業で威力を発揮します。



・2点吊り可能で揚重もラクラク！

⇒他社機は4点吊りであり、4点吊りの場合は前後でワイヤ長が異なり車両ごとに都度準備が必要。
S-PROBOは吊りアイを装備
2点吊りで揚重可能。安全と時間短縮に貢献！



階上解体・地下解体などのスペースの限られた現場でポテンシャルを発揮！

高所解体と違い階上・基礎・地下解体では作業範囲は求められない

LET'S DO THE WORK.™

四国建販

CAT